

平成 3 1 年

第 2 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 3 1 年 2 月 2 5 日

平成31年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会について

2月19日、仙北市育英奨学資金貸与制度検討委員会を開催し、基金の運用、制度の見直し、収納対策、原資の確保等についてご検討をいただきました。今後も健全・円滑な運用を確立するため、協議を重ねていきます。

◇学校適正配置について

各地区で実施した学校適正配置に関する意見交換会、教育委員会、総合教育会議等の結果について報告します。

中川小学校については、平成31年度を学校間交流等の準備期間とし、平成32年4月から角館小学校と統合することとしました。

11月28日の第3回中川地区住民・保護者意見交換会において、角館小学校との学校適正配置についてご理解いただきました。その後、適正配置の時期等について、中川小学校の保護者の皆様の意見を集約していただきました。そして、12月19日には教育委員会協議会を、平成31年1月15日には総合教育会議を、そして、同日、総合教育会議終了後に、中川小学校、角館小学校両校の保護者代表と学校代表、教育委員会委員による三者協議会を開催して議論を重ね、保護者の意向を最優先し、平成32年4月統合が望ましいとの結論に至りました。そして、2月13日中川小学校、2月15日の角館小学校のPTA参観日の際に、両校の保護者の皆様にも説明し、理解いただきました。

また、1月28日には、中川小学校、角館小学校両校による学校間交流検討会を開催し、平成31年度の具体的な交流内容について協議を行い、平成31年4月から統合に向けた両校の学校間交流が円滑かつ着実に推進されるように準備に取りかかることとしまし

た。

桧木内中学校については、先の12月議会で報告したとおり、通学時間の問題、健康面への不安、生徒や保護者の負担の大きさ、不公平感及び地域の衰退への危惧等の観点から、性急な適正配置を行わず、意見交換を継続するとともに、少人数のデメリットの軽減を図るために近隣中学校との学校間交流を積極的に行っていくこととしました。

今後は、仙北市広報3月1日号にこれまで行った各地区の意見交換会の結果等を掲載するとともに、特に中川地区・角館地区の広報にはチラシも折り込み、学校適正配置の状況等を市民全体及び地域住民、保護者へ周知と理解を図るようにします。

◇青山学院大学との交流活動について

2月14日から17日の4日間、青山学院大学の学生・引率者14名が仙北市を訪れ、冬季交流プログラムを行いました。この事業は、平成28年に締結した包括連携協定が縁で始まったもので、今回で3年目となります。期間中、参加者はひとり暮らし高齢者宅の除雪作業、田沢湖高原雪まつりの準備作業のボランティア活動や、武家屋敷岩橋家で行われている角館の冬がたり等を見学して、雪国の暮らしぶりや風習を体験していただきました。

冬季交流プログラムは、首都圏では体験することができない雪に触れたボランティア活動等を通じ、年々市民との交流の輪が広がりを見せており、今後も様々なメニューを提供し展開することで、より一層交流を深めたいと考えています。

◇第19回環境美化教育優良校等表彰について

生保内中学校が第19回環境美化教育優良校等表彰において、優良校を受賞し、2月21日伝達されました。

これは、ふるさと教育と環境教育の一環としてクニマスや田沢湖白浜の鳴砂について研究するとともに、クニマスの里帰りや鳴砂の

復活を目指して、地元有志の「ぎっくばらんの会」と協力して行ってきた田沢湖白浜クリーンアップ大作戦などの取り組みが高く評価され、県内からは、生保内中学校が唯一表彰されたものです。

【生涯学習課】

◇仙北市総合美術展について

2月5日から17日まで「第8回仙北市総合美術展」が、角館町平福記念美術館において開催されました。

日ごろの生涯学習活動の発表の場として定着してきた中で、今回は新たに指定障がい福祉サービス事業所「愛仙」からの出展も含め、151人と5団体から絵画、書、写真、工芸、手芸作品など168点の出展があり、あらためて生涯学習の裾野の広さを実感しました。

会期中は、570人の来場者があり、多岐にわたる力作を熱心に鑑賞し、出展者との交流も図られるなど有意義な美術展となりました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇読書感想文コンクールについて

仙北市読書感想文コンクールは、角館図書館後援会主催から引き続いて54年目となる地域に根ざしたコンクールとなっています。

今年度は、審査委員長に田沢湖町生保内在住の鈴木勝一（すずきしょういち）さんをお迎えし、市内各校から選抜された147点の応募作品から38点の入賞作品を決定しました。

2月17日、総合情報センターで表彰式を行い、最優秀賞の仙北市長賞は、小学校・中学校の部では、桧木内中学校2年若生美空（わこう みく）さん、高校の部では、角館高等学校1年田口芳美（たぐち よしみ）さん、新潮文庫賞は、桧木内中学校3年の畠山美々（はたけやま みみ）さんと角館高等学校3年の手代木ひかる（てしろぎ ひかる）さん、角館図書館後援会長賞は、神代小学校4年

妻野輝誠（つまの こうせい）さんと角館高等学校3年森永ののか（もりなが ののか）さん、仙北市教育長賞は、西明寺小学校2年門脇隼男（かどわき はやお）さんと角館小学校6年山田絵理（やまだ えり）さん、角館高等学校3年の浅利陽菜（あさり ひな）さんが受賞しました。

【スポーツ振興課】

◇2019フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2月2日と3日に、たざわ湖スキー場で2019フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が男子53人、女子35人の参加のもと、良好なコースコンディションで開催されました。

6年連続6回目の開催となるこの大会は、2月2日にモーグル競技、3日にデュアルモーグル競技を行い、モーグル競技で上位入賞した男子1人、女子2人には、2019FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会への出場権が与えられ、ジュニア世界選手権派遣選考基準をクリアした男子2人には、ジュニア世界選手権の出場権が与えられました。

◇高雄国際マラソンへの市民ランナー派遣について

2月17日に開催された第10回高雄国際マラソン（台湾）へ、田沢湖マラソンを完走した市民ランナー3人を派遣しました。

フルマラソンには兜森輝美（かぶともり てるみ）さん、鈴木裕子（すずき ゆうこ）さん、25キロウルトラハーフマラソンには草薙大助（くさなぎ だいすけ）さんが出場し見事完走しました。

高雄国際マラソンへの派遣は、田沢湖マラソンとの交流事業の一環として、また相互の市民交流に向けた取り組みであり、第33回田沢湖マラソンへも高雄国際マラソンからランナーを招いており、第34回大会へも招待の予定となっています。

また、高雄国際マラソンは今年が10回大会ということで、お互いのマラソン大会の友好交流を促進するため、仙北市と高雄市が更なる友好交流を促進する旨の覚書を締結しました。

【文化財課】

◇おやま囃子芸能発表会について

2月11日に、角館交流センターで「おやま囃子芸能発表会」が開催され、13団体が出演しました。この発表会は「角館のお祭り保存会」の主催で、おやま囃子の保存・継承を目的に毎年開催しており、今年で24回目の開催となりました。当日は、歴史ある伝統芸能の囃子や踊りを堪能しようと市内外から約800人の観客や参加者が会場に詰めかけ、大いに盛り上がりました。

◇国指定名勝桧木内川堤「サクラ」のウソ対策について

国の名勝に指定されている桧木内川堤のサクラについて、ソメイヨシノ花芽食害防止と景観保全を目的として、今年も2月1日から3月2日までの30日間、角館猟友会に委託して、ウソの有害鳥獣捕獲を行っています。

【平福記念美術館】

◇館蔵品・寄託品展について

2月26日から4月9日まで、「館蔵品・寄託品展」を開催します。平成30年度に河正雄（ハ・ジョンウン）さんから寄贈いただいた作品や、美術館所蔵作品、寄託作品を中心に79点の展示予定です。平福穂庵・百穂常設展と併せてお楽しみいただくよう、皆様のご来館をお待ちしています。